

ケアプランデータ連携システム フリーパスキャンペーンの開始等について

標記のこと、令和５年４月からケアプランデータ連携システム（以下「システム」という。）が開始された。令和５年のシステム開始時から令和７年にかけて、システムの導入を前向き検討している事業所は増加傾向である。

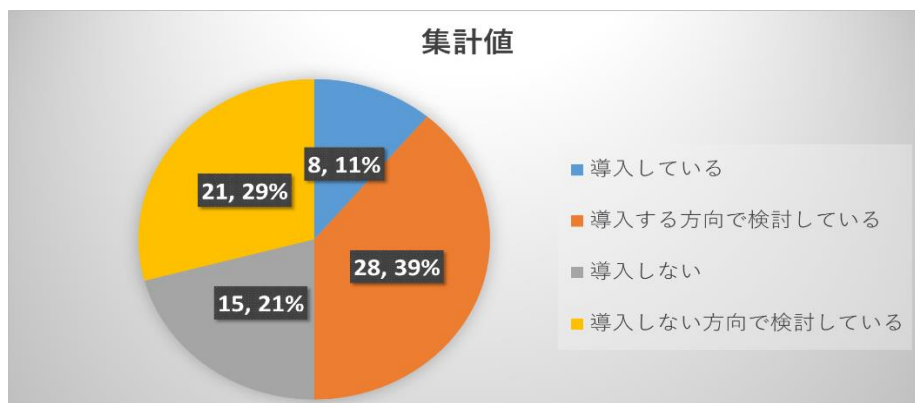
システムは多くの事業所が導入することで効果を発揮するものであることに加え、国が構築を予定している介護情報基盤（後述）の稼働には、システムの導入・活用が必須とされている。

ついては、システムのフリーパスキャンペーン（令和７年６月）開始に合わせ、システムの導入を前向きに検討願いたい。

なお、システムにかかる昨今の状況については以下のとおり。

１．システムの導入検討状況について

- ・令和７年２月から３月にかけてシステム導入にかかるアンケートを実施。
- ・回答数は７２。うちシステムの導入に前向きな事業所は半数程度。
- ・内訳は以下のとおり（左の数値：回答数 右の数値：全体の割合）。



２．介護情報基盤について

- ・国が構築を検討しているシステム。
- ・紙で共有していた情報（主治医の意見書、介護保険被保険者証、ケアプラン等）を電子上で介護事業所・医療機関・保険者が確認できるようにするもの。
- ・介護情報基盤への連携にシステムを必須とする予定とのこと。

３．参考資料

公益社団法人国民健康保険中央会主催の「ケアプランデータ連携システム 導入直前セミナー」（５月１６日開催 Youtube での動画配信）の資料については、以下の大和市 HP に掲載する。適宜確認願いたい。

<令和７年度第１回ケアマネジャー連絡会議（大和市 HP）>

https://www.city.yamato.lg.jp/gyosei/soshik/18/kaigojigoysyamuke/tsuchi_jimurenaku/renrakukaigi/24303.html